

緑 山

令和8年度

第6号

令和8年10月16日発行

文責：校長 岸本行夫

令和8年度体育祭

9月11日(金)、早朝からの雨で天候を心配しましたが、全校生徒の願いが通じて、さわやかな秋晴れのもと、令和8年度第四中学校体育祭を開催することができました。

『FOR OUR SMILE ～勇往邁進～』のスローガンのもと、どんな困難に直面しても決してあきらめず、地味なことや辛いことでも一人ひとりが全力でやり切り、一つの目標に向かってチーム全員で走り抜けることで、チーム全員で困難を乗り越え、得られる結果の先に「最高の笑顔」が広がることを目標として、全校生徒が力を合わせて素晴らしい体育祭をつくりあげました。

体育祭当日は、デコレーションの設置やテント設営等の準備を行った後、開会式とラジオ体操を元氣よく行いました。その後、学年種目やリレーなどの競技に取り組むとともに、競技役員として各生徒が積極的に活動しました。生徒たちにとっては、体育祭は参加者であり運営者でもあります。競技参加後、競技役員の活動を忘れずに行う責任感のある姿、互いに声を掛け合い生徒同士で協力して活動する姿に大変感心しました。

午後はパフォーマンスからのスタートでした。3年生は夏休みから、1・2年生は2学期から少ない練習時間の中で一生懸命覚えたダンスや隊形移動、色ごとに工夫を凝らした集団演技を披露しました。どの色組も最高の笑顔にあふれ学年の垣根を越えて楽しそうに表現する姿は、教職員のみならず観覧の保護者の方々にも多くの感動を与えました。また、バックネットに掲げられたデコレーションは、各色組のスローガンに合わせ細部まで色鮮やかに工夫がなされ、見応えのある作品をつくりあげていました。

そして、最後の種目は色別対抗リレーです。各学年を代表する選手が6色に分かれての競走です。出場する選手は力走し、応援する生徒も抜きつ抜かれつのレース展開に一生懸命声援を送り、体育祭最後の種目にふさわしく大いに盛りあがりました。

体育祭の企画運営に取り組んだ生徒会18役のみなさん、そして、各色組でリーダーとして頑張ってくれた3年生のみなさん、残暑の厳しい中、様々な困難をみんなで乗り越え立派にやり遂げました。また、これまでの体育祭準備や当日の活動を通して、生徒のみなさんはたくさんの思い出とともに多くの学びや経験をすることができました。この貴重な経験を、これからの学校生活や行事活動にしっかりと活かし、これからも全校生徒の笑顔があふれる四中にしていきたいと思います。

保護者の皆様には、お忙しい中ご来場いただき、子どもたちにたくさんの励みやご声援をいただきました。本年度も保護者受付やリストバンドの着用、生徒用テント設営や撤去作業など、学校より色々なお願いもさせていただきましたが、体育祭開催に快くご協力をいただき深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



部門	1位	2位	3位
思いやり	桃組・緑組	—	黄組・赤組
デコレーション	紫組	赤組	黄組
パフォーマンス	赤組	桃組	青組
競技	紫組	青組	赤組
総合	紫組	赤組	青組



1 年生『市内探訪』

10月1日(木)、1年生は松江市内探訪に出かけました。総合的な学習の時間において「『ふるさと・松江』のよさを再発見しよう」というテーマのもと、松江市の交通や食文化、観光や水都など、それぞれの小グループで再発見するテーマを決め、班別自主研修を行いました。初めての校外研修でしたが、様々なアクシデントやトラブルにも班員で協力して課題を乗り越え、みんなで楽しみながら松江の良さを再発見し、思い出に残る自主研修となりました。



2 年生『修学旅行』

9月30日(水)～10月2日(金)の3日間、2年生は修学旅行を行いました。30日(水)は早朝に四中を出発し、奈良東大寺大仏殿と京都清水寺の見学を行いました。二日目の1日(木)は、京都班別自主研修を行いました。絶好の秋晴れのもと、京都の知恩院駐車場へバスで移動した後、各班に別れ京都の歴史的建造物や水族館など班で決めた見学地を見学したり、班員で食事をしたりして生徒だけで1日研修をやり抜きました。そして、最終日の2日(金)はユニバーサルスタジオ・ジャパンに出かけ、アトラクションやゲームなど楽しい時間を満喫しました。

本年度の修学旅行スローガンは「Cooperation(協力)～一生に一度の思い出を大切に～」でした。修学旅行を通してルールやマナーを守ること、自分から積極的に行動すること、2年生全体で自立した集団に成長することなどを目標にがんばりました。修学旅行で学んだこと経験したことを今後の学校生活や活動に活かしてくれることを期待しています。



3 年生『職場体験学習』

9月30日(水)～10月2日(金)の3日間、3年生は職場体験学習を実施しました。総合的な学習の時間において「ふるさと未来学習Ⅲ『ふるさと・松江』で働く人の生き方から、これからの自分について考える」をテーマに、地域の事業所等に出かけ、実際に働くことを体験させていただきました。

なぜこの仕事に就いたのか、仕事のやりがいや仕事に就いてよかったこと、大変なこと、仕事をする上で大事にしていることなど、職場の方々と直接やり取りをしたり実際の仕事を体験したりすることを通して『働くこと』についてたくさんの学びを得ることができました。この職場体験学習が、これからの進路選択につながる良い機会にしてくれることを願っています。



四中校区小学6年生による中学校体験を開催

9月18日午後、津田小と古志原小の6年生が四中体験を行いました。この活動は、中学校からの説明や授業見学を通して、4月からの中学校進学に向けて抱負を抱くとともに、残りの小学校生活に意欲をもって取り組む機会とすること、また、校区の小学生同志が交流を通して中学校生活を送る仲間との親睦を深めることを目的に開催しています。

はじめの会では、四中校長から中学校と小学校の違いや行事活動、部活動について説明しました。また、今年度は中学校の代表者2名から中学校での生活や学習、部活動等について話をしてもらい、中学校生活をイメージしてもらいました。その後、6年生は中学生の授業見学を行い、授業の様子を直接見学しました。

終わりの会では、各小学校の代表者8名が感想を発表しました、「4月からの中学校生活に見通しをもつことができました。」「中学生が勉強に集中して取り組んでいてすごいと思いました。」など、中学校に向けての抱負や感想を話してくれました。

小学6年生のみなさんの話を聞く姿勢や見学の態度は、緊張もあったと思いますがとても素晴らしいものでした。あと半年の小学校生活をより一層充実させ、来年4月には松江四中へ入学してくることを心からお待ちしております。

